

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年 7月18日(木)
- 2 確認箇所
Dタンクエリア
- 3 確認項目
Dタンクエリアのタンク転用作業の状況
- 4 確認結果の概要

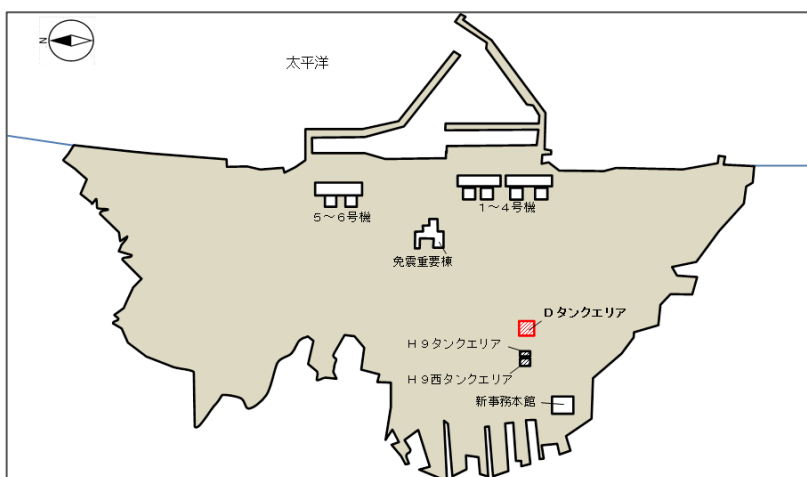
RO処理水(淡水)^{※1}は、H9及びH9西タンクエリアのフランジ型タンクで貯留する運用がなされているが、漏えいリスクを低減するため、今後は溶接型のタンクで貯留することとしている。H9及びH9西タンクエリアで貯留されているRO処理水(淡水)の移送先として、溶接型タンクが設置されているDタンクエリア(図1)において、ストロンチウム処理水^{※2}を貯留しているタンクの一部(図2)を転用する計画となっている。

現在、タンクの転用に向けてタンク残水処理作業等が実施されていることから、残水移送作業における漏えい防止対策やダスト飛散防止対策等を確認した。
(前回確認：7月3日)

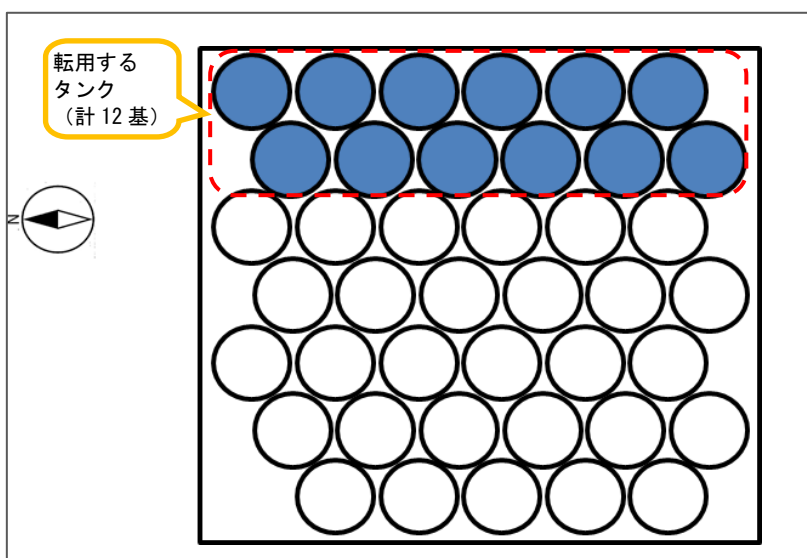
- ・本日は、吸引車による残水移送作業及び残水処理されたタンク内における補修塗装前のケレン作業が行われていた。
- ・残水移送作業における漏えい防止対策として、吸引車と仮設ホースの接続部及び仮設ホース間の接続部はビニールで養生されるとともに、専用接続治具の使用及びロープでの固縛が行われていた。また、仮設ホース接続部下部には受けパンが設置されていた。(写真1)
- ・ダスト飛散防止対策としてタンク側面マンホールの開口部には仮設ハウスが設置されるとともに、タンク内部の空気は局所排風機で浄化した後に排気していた。(写真2)

※1 汚染水を炉注水として使用するために淡水化装置で塩分を取り除く処理をした水

※2 汚染水をセシウム吸着装置等の処理装置でセシウムやストロンチウムを低減した水



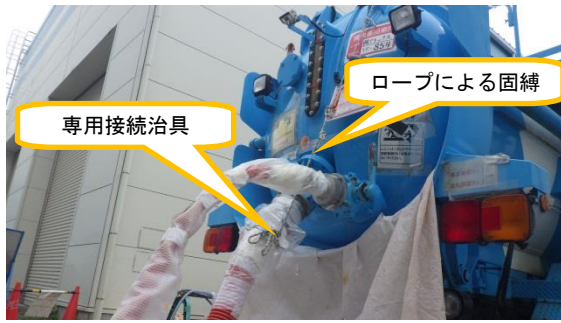
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) Dタンクエリア詳細図



(写真1-1)
タンク残水移送作業の状況



(写真1-2)
吸引車と仮設ホース接続部



(写真1-3)



(写真2-1)
タンク側面のマンホールの開口部
付近



(写真2-2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。